

MESSAGE

学部長・研究科長挨拶

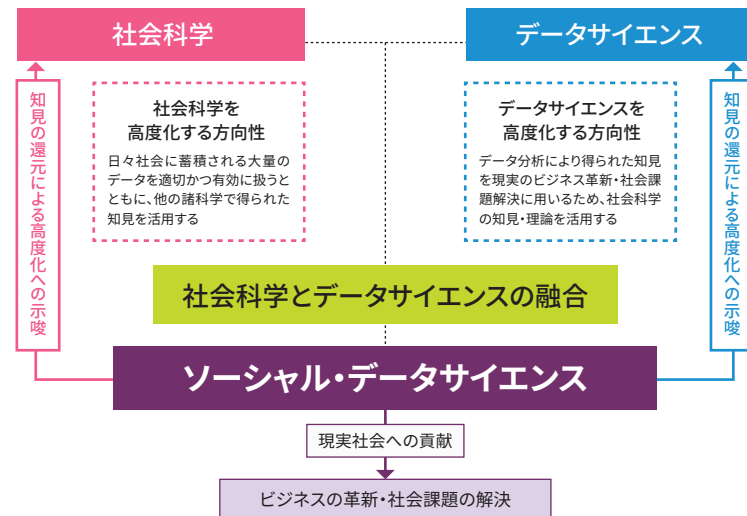
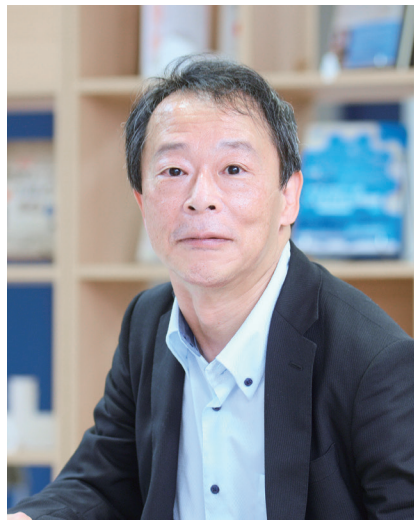
ソーシャル・データサイエンスという新たな学術領域を切り拓く仲間へ

現代は「ビッグデータの時代」と言われるように、様々な大量のデータが入手可能です。こうしたビッグデータから有用な情報を抽出するデータサイエンスは社会から注目を集めています。ソーシャル・データサイエンス学部・研究科の「ソーシャル」は経済学、経営学、法学、政治学、社会学などの社会科学を意味し、新学部では、統計学、情報・AIなどのデータサイエンスに加え、社会科学も幅広く体系的に学べます。

本学部・研究科では、現代社会における新たな課題を解決できる人材を養成するため、社会科学とデータサイエンスが融合して生じた「ソーシャル・データサイエンス」の教育研究を推進します。我々と共に学び、新たな学術領域を共に切り拓いていく意欲のある方々に、是非本学部・研究科に進学して頂きたいと思います。

ソーシャル・データサイエンス学部長/研究科長

渡部 敏明



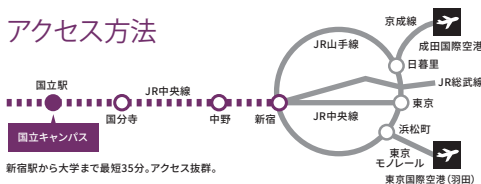
SOCIAL DATA SCIENCE

ソーシャル・データサイエンス学部・研究科

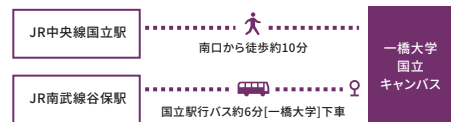
社会科学とデータサイエンスの「融合」による現代社会の課題解決

近年の社会・自然環境の大幅な変化により、世界中で様々な課題が新たに発生しており、これらの課題の状況は刻一刻と変化を続けています。急速かつ複雑に変化する現代社会の課題を解決するためには、適切な課題を発見・定義し、必要なデータを収集・分析して、そこから得られた示唆を社会実装することが必要です。そのため、本学部・研究科では、「ソーシャル・データサイエンス」の教育研究を推進します。

アクセス方法



交通アクセス



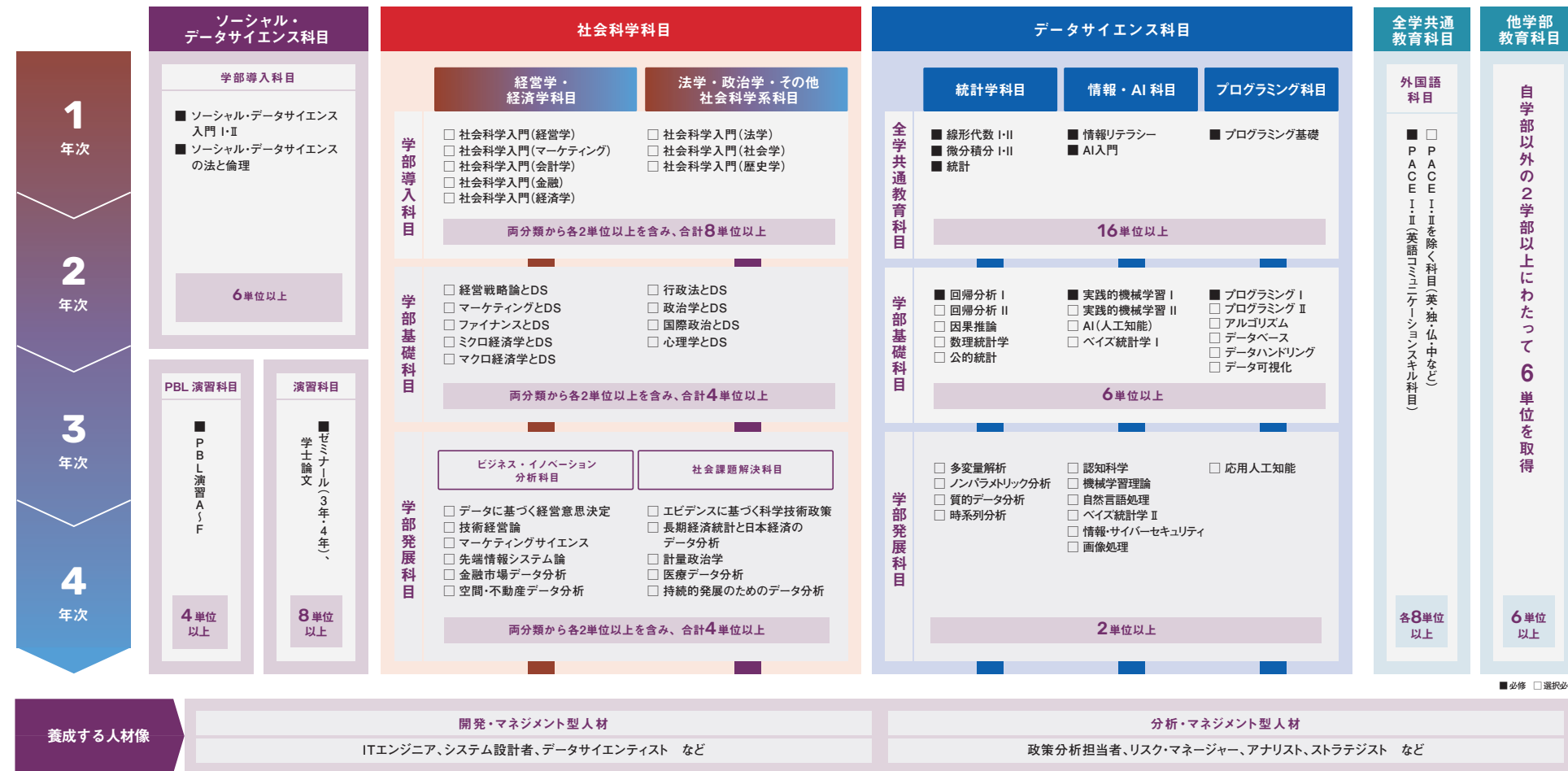
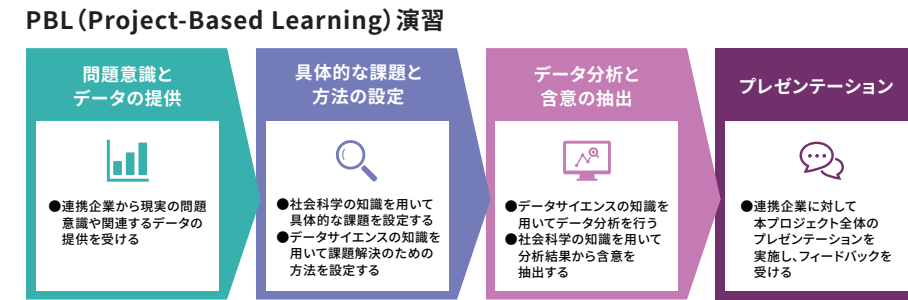
国立大学法人
一橋大学
HITOTSUBASHI UNIVERSITY

TEL:042-580-8000 (代表)
〒186-8601 東京都国立市中2-1
<http://www.hit-u.ac.jp>

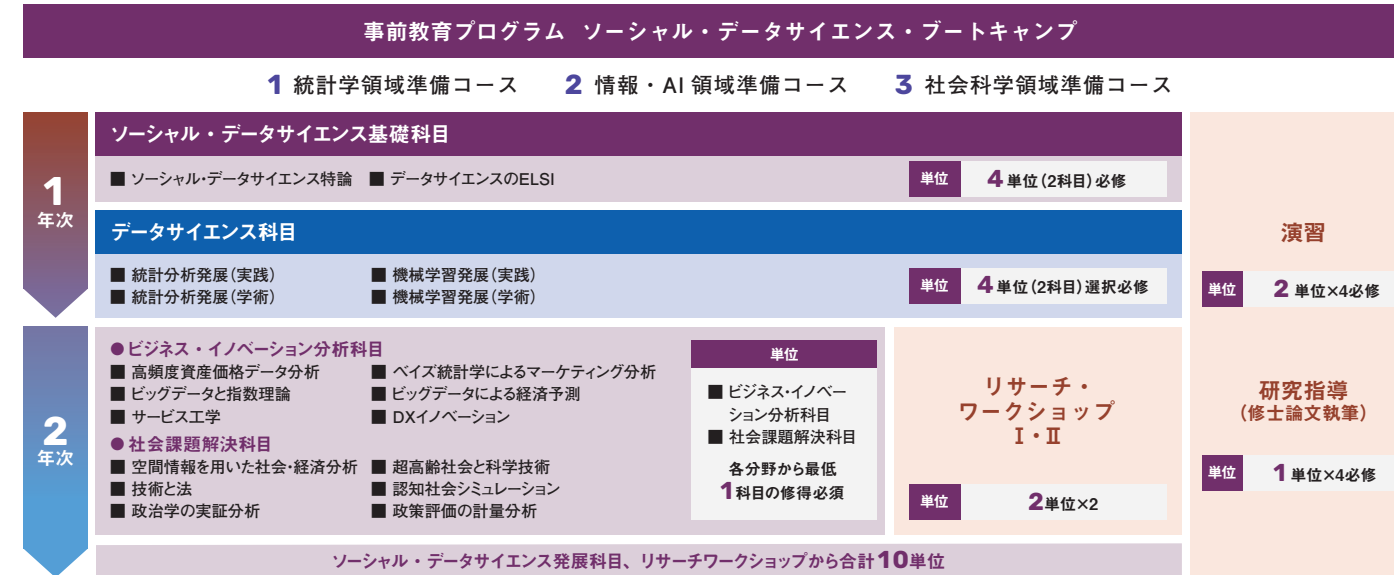


国立大学法人
一橋大学
HITOTSUBASHI UNIVERSITY

- ソーシャル・データサイエンスへの入門と、その法・倫理を学ぶ必修科目
- ビジネス領域、社会課題領域、データサイエンスの3領域の体系的な知識を修得
- PBL演習を通じた実践的な知識・スキルの修得
- 一橋大学の伝統である、ゼミナールを通じた全人的教育
- 一橋大学の伝統である、他学部開講科目を通じた幅広い学び



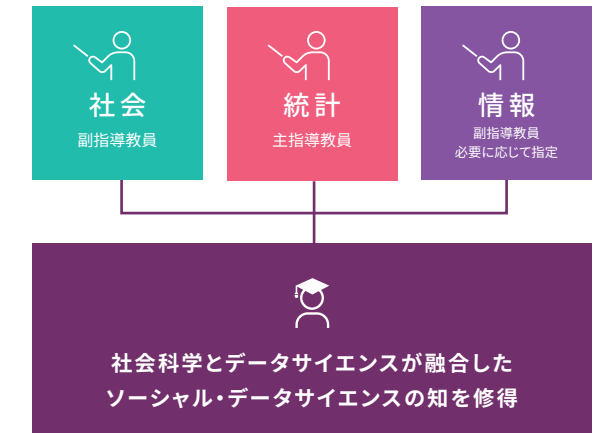
■ 博士前期(修士)課程カリキュラム



■ 博士後期課程カリキュラム

	講義	演習	研究指導ほか
1 年次	■ SDS 研究方法論Ⅰ 責任ある科学技術イノベーション (RRI) ■ SDS 研究方法論Ⅱ 研究開発マネジメント論	■ SDS アドバンスト・リサーチ・ワークショップⅠ	■ 副指導教員（2名）の選出 ■ 先行研究レビュー ■ 研究テーマの確定
		■ SDS アドバンスト・リサーチ・ワークショップⅡ	■ 適切な共同研究先の選定 ■ 共同研究のための準備
2 年次		■ SDS 共同プロジェクト演習Ⅰ	■ 共同研究のフォロー ■ 博士論文計画の作成
		■ SDS 共同プロジェクト演習Ⅱ	■ 博士論文計画の提出→承認
3 年次			■ 博士論文の執筆→学位申請書類の提出
			■ 博士論文審査

主・副指導教員という2名以上での指導体制(例)



個々の学生に対して指導教員と専門分野(部門)が異なる副指導教員を配置することで、分野横断的・異分野融合的な研究の指導が可能となります。

複数教員による融合領域別の研究指導

